

＜児童発達支援＞ 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年3月31日

事業所名：児童支援事業所ばすれる

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	6			室内の器具を必要に応じて出し入れし、活動に必要なスペースを確保しています。また、集団療育と個別療育の2つの形態を設定し、児童が利用する時間帯を分散させています。	
	2	職員の配置数は適切である	6			基準人員に加えて、専門職を配置し多職種で支援できる体制を整えています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	6			活動の内容・特性に合わせて部屋を使い分けています。	部屋の構造上、階段などの段差はあるため移動の際はスタッフが誘導するようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	6			活動の合い間に換気を行う、活動で使用した道具は適宜アルコール消毒を行う、除菌シートで拭くなど感染症対策を心がけています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	5	1		活動前・活動後にミーティングを行い、気付いた点を共有し次回の活動に繋ぎたいと検討しています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。		3	3	利用開始時や定期的な面談などの中で、保護者の意向が把握できるように努めています。	保護者向けアンケートは今回初めて実施しました。今後の取り組みに活かしていきたいと思います。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向けの評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。		3	3		今回初めて保護者向けの自己評価を行いました。この結果を踏まえて、今後につなげていきたいと思います。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。			6		第三者による外部評価は今後検討していきたいと思います。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	6			事業所内での定期的な研修会に加え、外部講師に依頼し研修の機会を設けています。	
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成している。	6			アセスメントの結果は事業所全体で共有し、職種ごとの視点も踏まえて分析し計画立案に繋げています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	2	3	1	標準化されたアセスメントツールを用いることもあるが、全てのケースでは実施できていません。	アセスメントツールの利用頻度を段階的に上げていきたいと思います。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
適切な 支援の 提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	6				
	13	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われている。	6				
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている。	6			専門職を中心に話し合いながら活動プログラムの計画を行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	6			子どもの年齢や発達状況に合わせて活動プログラムを構成しています。プログラムは発展性を持たせるような工夫をしています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成している。	6			個別療育と集団療育の2つの形態を設け、子供の状況に合わせてプログラムを選択しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	6			週の終わりに翌週のスケジュールを確認。活動の内容について大まかな打合せをしています。また、当日は支援開始前に活動内容や役割分担を決めています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	6			活動の終わりにはミーティングを行い、情報の共有を図っています。	
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	6				
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している。	6				
	関係機 関や保 護者との 連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	6			
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	4	1	1	関係機関とは定期的に情報共有を行っている。	
23		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。		1	5	医療的ケア児の利用はありません。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
関係機 関や保 護者 との連 携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えている。		1	5	医療的ケア児の利用はありません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	3	1	2	情報提供書を作成し支援内容等が共有できるように努めています。	移行にあたって情報提供ができていないケースもあるため、今後はより積極的に情報共有を図って行きたいと思います。
	26	移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	3	1	2	児童発達支援から放課後等デイサービスに移行する際、情報提供書を作成し支援内容等が共有できるように努めています。	移行にあたって情報提供ができていないケースもあるため、今後はより積極的に情報共有を図って行きたいと思います。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	6			研修依頼を出し、事業所内での研修を実施しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。			6		現時点ではありませんが、今後検討していければと思います。
	29	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。	6				
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	6			送迎の際、保護者と話をする中で家庭での様子や困りごとを把握できるように努めています。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている。		2	4		面談の中で個別に子供への関わり方等について話をしていますが、グループでのペアレントトレーニングは実施していません。今後はグループでのペアレントトレーニングも計画していきたいと思います。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	6				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。	6				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	6			送迎の際に話をする中で、保護者の悩みや困りごとを把握できるように努めています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。			6		コロナの状況もあり、保護者会等は開催できていません。今後は保護者同士の連携を促すような機会を設けたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	6			相談があった際には事業所内で共有し、面談を設定するなど早めの対応を心がけています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
保護者への説明責任等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。			6		会報等は発行していないため、活動の内容や行事等の情報発信を行ってきたいと思います。
	38	個人情報の取扱いに十分に注意している。	6				
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	6			送迎の際、活動や家庭での様子について話をする時間をとるようにしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。			6		今後は地域交流の機会が設けられるように検討していきたいと思います。
非常時の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	4	1	1		必要なマニュアルは作成していますが、保護者に対する周知・情報発信は不十分だったと思います。今後はホームページに掲載する等、周知・説明を進めていきたいと思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	6				
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	6			保護者に確認し、ファイルで管理します。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。		4	2	医師の指示書がある児童の利用はありません。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。		4	2	様式は用意していますが、現時点ではヒヤリハットに該当するケースがありません。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	6				
	47	どのような場合にやむ得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。			6	現時点では身体拘束を行うケースはありません。	